

C³プロジェクトでは、「東海村の環境と原子力安全について提言する会」を設置し、皆さんと一緒に、行政や事業者との議論の場や、必要なリスク情報づくりを進めることにしています。

4月から、参加していただいている住民の皆さんと議論を重ね、2つのプログラムの実施を決定しました。皆さんのお考えや要望を実現してみませんか。参加はいつでも受け付けています！！

東海村の環境と原子力安全について提言する会への参加 申し込み方法

参加申し込みチラシの裏面にあるハガキに必要事項をご記入の上、お申し込みください。

2004年3月31日まで受け付けています。

参加申し込みチラシは、C³プロジェクト事務局のほか、合同庁舎1階ロビー、駅、役場、核燃料サイクル開発機構（アトムワールド、リコッティ）、日本原子力研究所（インフォメーションプラザ東海）、日本原子力発電所（テラパーク）内に置いてあります。

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
	10～16時	10～16時	10～16時			
8	9	10	11	12	13	14
	10～16時	10～16時	10～16時			
15	16	17	18	19	20	21
	10～16時	10～16時	10～16時	16～19時 提言する会		
22	23	24	25	26	27	28
		冬休み ⇒ 年明けの活動は1月13日より始めます				
29	30	31				

予定は変更になる可能性がありますのでご了承ください。

2003年 12月 第6号

サイクル機構の視察を実施！

10月20日（月）サイクル機構東海事業所の現場視察を行いました

「東海村の環境と原子力安全について提言する会」では、住民の目で原子力事業所の安全対策を確認する視察を、10月20日（月）核燃料サイクル開発機構 東海事業所の再処理施設と廃棄物関連施設を対象に実施いたしました。この第1回視察には、「提言する会」より9名（1名は午前中のみ）、研究プロジェクト事務局より3名が参加しました。（報告概要は内側のページ）

朝8時50分に合同庁舎に集合し、サイクル機構のバスで東海事業所に出発。野村副所長の概要説明、ホールボディ（人体の放射線量測定）を経て、10時より12時30分まで再処理施設の説明を受け、昼食をとりながら13時50分まで各部署の責任者の方々7名と議論しました。

午後は、14時から放射性廃棄物処理施設を低レベル・高レベルとも見せていただきました。その後、再処理施設の現場指揮所に行きました。当日午後、その現場指揮所も使ったサイクル機構と茨城県警合同によるテロ対策訓練が行われていました。機密保持のため、訓練は見学できませんでしたが、そこまでしてテロに備えた訓練も実施していることを見聞きし、参加者は安心しました。最後のホールボディを受けて、再度、現場の担当者の方々に集まっていただき17時30分まで議論をし、退出しました。

着席していたのは、ホールボディの順番待ちと食事・議論の時間だけでしたが、参加者全員たいへん充実した1日を過ごしました。

9月10日の第1回実行委員会、10月2日の第2回実行委員会、10月14日の「提言する会」会合における事前説明と、十分な準備をして臨んだ視察でした。この視察の目的である

核燃料サイクル開発機構の再処理施設を対象に再処理施設の運転状況と廃棄物処理の方法について、設備上の安全対策と運転・作業する人の意識の面から、住民の視点で観察し、意見交換をすることが十分達成できたと、参加者一同満足しています。準備段階から積極的に対応していただいたサイクル機構の皆さん、懇切丁寧な私たちの質問に答えていただいた方々、本当にありがとうございました。



平成15年度 第1回視察 実施報告 概要

視察の目的と実施内容

<視察の目的>

この視察の目的は以下の3点です。

- 1) 住民が原子力関連施設でどのような安全対策が講じられているのかを実際に見聞きして、理解する機会をつくる。
 - 2) 専門知識の有無に関わらず、住民の視点から懸念や課題を指摘する。
 - 3) 視察結果を公開し、原子力事業所の公開性を高めるとともに、より多くの住民の関心を喚起する。
- これらの目的を達成するため、視察の実施にあたって、次の条件を満たすように考えました。

実施の要点

- ・ 事業活動の現場を見学する
- ・ 事業所職員に質問する
- ・ 安全対策について議論する時間を十分とる
- ・ 結果をまとめ、公表する
- ・ 提案や要望事項については、事業所からの返答をもらう
- ・ 継続的に実施する

今回、核燃料サイクル開発機構東海事業所の方から、視察受け入れのお返事をいただき、2回の実行委員会を開催し、10月20日に再処理施設と廃棄物処理施設の視察を実施いたしました。

<視察の実施内容>

日時：平成15年10月20日（月） 8：50～18：20

参加者：12名

『提言する会』より・・・赤石 準，池田 誠仁，小宮山 豊，佐藤 隆雄，佐藤 稔
澤井 滉，清水 朋子，杉 暉夫，寺西 一夫（9名）

03プロジェクトより・・・谷口 武俊，土屋 智子，飛田 道典（3名）

8：50 合同庁舎前に集合（サイクル機構のバスで東海事業所へ）
9：10 東海事業所 到着
9：15～10：00 野村副所長よりサイクル機構および東海事業所の概要説明を受ける
10：00～10：30 ホールボディを受ける
10：30～12：30 再処理施設を視察する
放射線管理室→燃料貯蔵プール→せん断工程→中央制御室
12：30～13：30 昼食をとりながら、視察場所の責任者7名と議論をする
移動
14：00～16：30 放射性廃棄物関連施設を視察する
廃棄物処理場→第一低放射性固体廃棄物貯蔵場→第二高放射性固体廃棄物貯蔵施設

16：30～17：00 再処理施設の現場指揮所を見学

17：00～17：30 ホールボディを受ける

17：30～18：00 最後の質疑応答を行う

18：00 サイクル機構のバスで退出，合同庁舎へ向かう

18：30 合同庁舎着 解散

ただいま視察報告書を作成中！

視察に参加した9名の皆さんから感想文を提出していただき、それらを基に視察報告書を作成中です。この中には、サイクル機構のさらなる安全対策を求める提案が含まれています。

今後の視察プログラム関連の活動

視察報告書をサイクル機構に提出します。これを踏まえて、是非、サイクル機構の皆さんともう一度議論をし、住民からの提案事項についてお返事をいただきたいと思います。

サイクル機構との議論や提案に対する返答を加えて、視察報告書を完成させ、皆さんに公開していく予定にしています。

さらに、その他のサイクル機構の施設や他の原子力事業所への視察の実施もお願いしていく予定にしています。また、第1回の視察は「東海村の環境と原子力安全について提言する会」のメンバーによって行いましたが、今後の視察では、広く村民の皆さんにも参加を呼びかける予定にしています。



再処理施設の中を見学する視察メンバー

提言する会 新メンバー紹介 （2003年10月31日現在）

寺西 一夫 村松



私は1976年から東海村に住んでおり、この村の自然環境の素晴らしさが気に入っています。2000年3月までは、日立製作所の社内教育および短大での講義を担当しながら、日本原子力研究所で放射線計測の研究に従事しました。退職後は、パソコンとの格闘の毎日です。

原子力安全に関しては、1999年のJCO事故を契機として、発言する必要性を強く感じました。友人の杉さんと団地の同じ常会の山口さんの助言を受けて入会させて戴きました。